

春の特別企画展  
たまろく水辺の案内所  
多摩六都科学館  
平成30年4月21日(土)  
15時00分～16時00分

# 石神井川を清流に 西東京にホテルを再び！

MeC西東京(メックニシトウキョウ)  
代表 末光 正忠(すえみつ まさただ)

# 活動事例紹介

- 自己紹介 MeC西東京はどんなグループ
- 活動の基本的な考え方
- 石神井川と清掃活動
- 西東京市での活動
- 東京ホテル会議に参加、事務局となる

# MeC西東京(メトロポリタン・サークル)

- 当初、NPO法人MeCが立川市でスタートした。
- その支部の一つとして、西東京市で地域活動を開始して、今日に至っている。

多年にわたり社会で活躍してきた中高年の経験と実績を基に、何か地域に貢献できるような活動をめざしている。併せて自分自身の生きがいを創出する

- 石神井川の定期的な清掃活動  
毎月第1土曜日午前10時-11時 弥生橋付近  
会員は、15名 いつも活動している6~7人  
70代~40代 年に1回CSRで70名参加
- 環境をはじめ、市民生活に役立つ講演会の開催

# 取り組む環境活動の基本

- 基本的コンセプト

考え方は地球規模で (think globally)

行動は足元から (act locally)

- この言葉を自分なりにどのように実践していくか？
- 今までの活動が、目的別で広範囲、地域とのつながりが希薄であった。
- 反省→地域(宝庫一樹木、草花、水辺、畑、農場、公園そして石神井川)を見直す。
- 石神井川が汚れている。ゴミの散乱

# 東日本大震災の復興支援を協議する NPO法人MeCの会員による定例会





市民一人ひとりをやさしく包み込み市の未来へ突き進む先進性、創造性を躍動感いっぱいにデザインしました。

市のマスコットキャラクター  
「いこいな」

「いこいな」は自然と人と生き物のふれあいを守る森の妖精です。帽子についている花は珍しい「ハンカチの木の花」です。武蔵野の雑木林の復元を目指す西東京いこいの森公園に住み、みどりや生き物を育てるお手伝いをしているので応援よろしくね！

所の位置等

舎  
南町五丁目6番13号  
度43分32.7秒  
度32分18.5秒

保谷庁舎  
西東京市中町一丁目5番1号  
北緯35度44分29.6秒  
東経139度33分32.5秒

人口・世帯

男 96,979人 女 101,288人  
合計 198,267人 92,610世帯  
(平成27年1月1日現在)

市の木・市の花



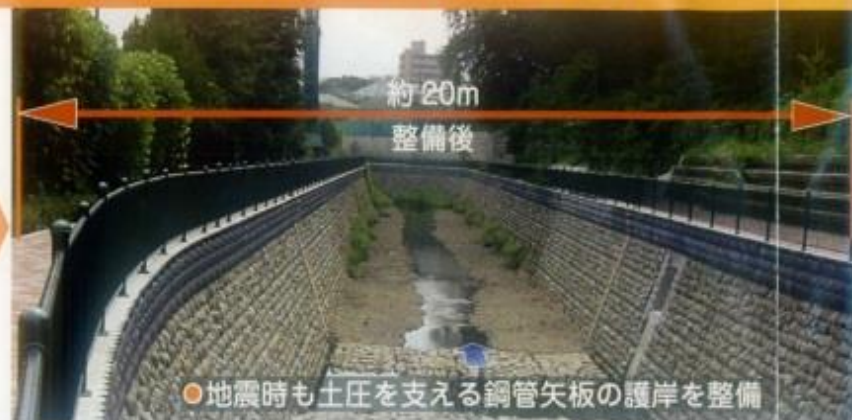


# 石神井川の現在

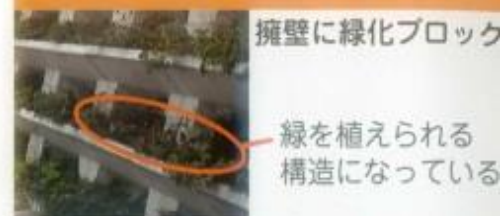
- 東京の中北部を流れてる一級河川(東京都の管理)  
都内中小河川で比較的規模の大きい河川になる。  
荒川と多摩川に挟まれた武蔵野台地、淀橋台地、豊島台地  
水源-小平、西東京、練馬、板橋、北  
長さ25.2km 流域面積61.6km<sup>2</sup> 高低差85m
- 石神井川河川整備計画 計画の基本理念
  - 1.洪水対策—より安全な河川整備
  - 2.公園等との一体整備—親水整備
  - 3.自然河床整備生物の多様性の創出計画期間—「平成16年より30年間
- 西東京市(15.85 km<sup>2</sup>) 石神井川が西から東へ4.2m、流域面積8.8 km<sup>2</sup>  
白子川、新川、田柄川—隣接千川上水
- 武蔵関公園~東伏見石神井緑地~都立東伏見公園  
水と緑のネットワークづくり 下野谷遺跡公園

# 石神井川が生まれかわりました 溜漕橋～東伏見橋（西東京市 東伏見）

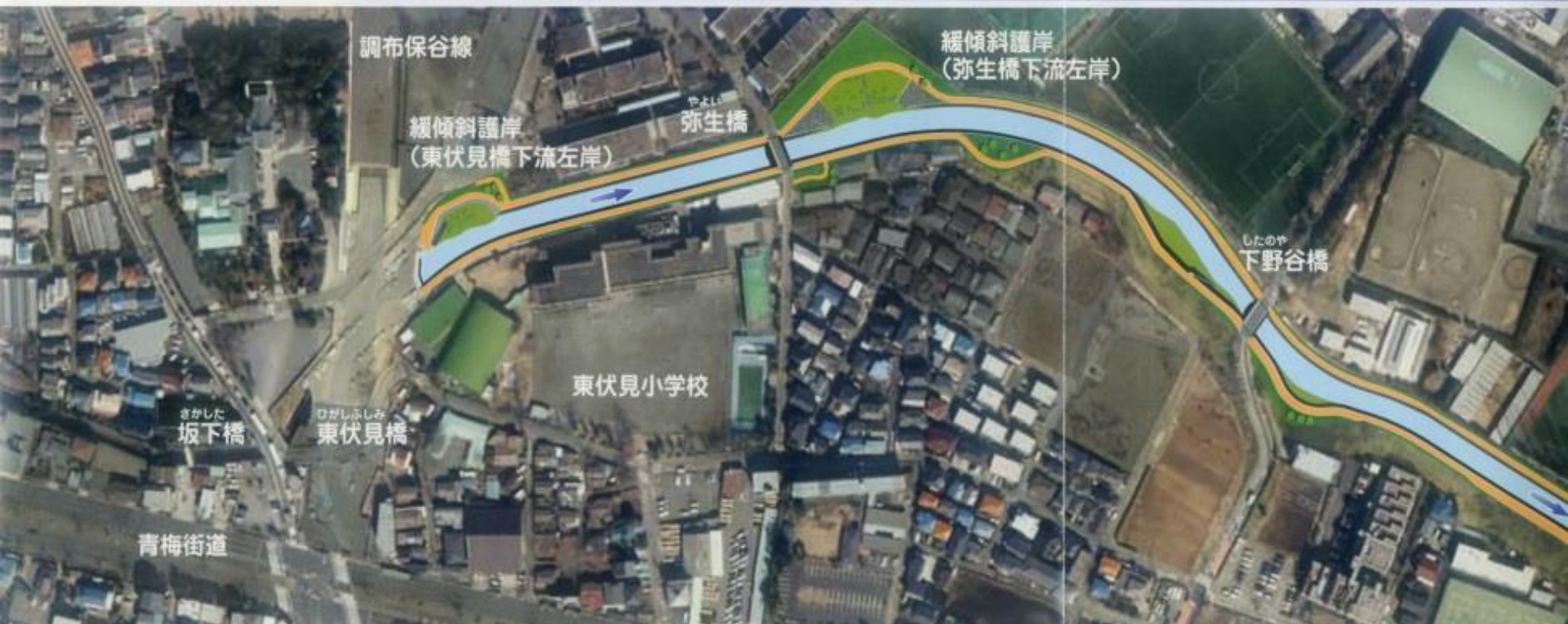
水害を防止する整備を行いました 1時間50ミリの降雨による洪水に対応する河川断面を確保



生態系に配慮した整備を行いました



## 整備区間（溜漕橋～東伏見橋）





石神井川が生まれかわりました

溜漕橋～東伏見橋（西東京市 東伏見）

# 西東京市内の石神井川(弥生橋)を毎月第一土曜日 午前に清掃活動するMeC西東京の会員





弥生橋

西東京市NPO企業連携  
西東京に輝かせるを

石神井川を清流に！  
11557-000408-019820

緑の会を再生  
0120024007-7

# 石神井川に入り、ごみを収集する会員



# 企業のCSRで石神井川の掃除に参加する若い人々



# 石神井川清掃に協力する企業のCSRボランティア





450  
ごみ収集

ごみ収集  
450  
ごみ収集

450  
ごみ収集  
東京23区指定  
ごみ収集

# 東伏見地区の将来イメージ

人々が集い、賑わいのある地区をめざします



ふれあい・交流の場となる広場ができます。災害時は防災の拠点となります。



青梅街道の歩道と河川の通路が公園と一体となったゆとりのある空間にかわります。



川遊びができる親水広場ができます。また、ワンド(よども)には多様な生物が生きできます。



東伏見稲荷神社の森と落葉樹を中心とした公園の緑が一体となって広がりのある緑がつけられ、野鳥や虫たちの生息空間も広がります。



公園と西武新宿線北側の街がつながり、行き来が楽になります。



トンネル上部は公園が整備され、園路と歩道と川沿いの散策路がつながります。



広い歩道をもった幹線道路が整備され、周辺の都立公園や玉川上水などとつながります。



東伏見公園と川沿いの道がつながり武蔵関公園まで散策ができます。



水辺で遊び、川沿いの木々を眺めながら散策ができます。



整備済みの石神井川

# 石神井川の現状





# コンクリートの3面張り



## 整備区間の土地利用の変遷

田畑や林などが時代とともに宅地となり、舗装やコンクリートでおおわれてきました。その結果、雨が地中にしみ込まず、一気に下水道や河川に流れ込むため、大雨が降ると水害が起きやすくなってきています。

明治 42 年 (1907)



出典：陸地測量部

昭和 30 年 (1955)



出典：国土地理院

平成 5 年 (1994)



出典：国土

凡例

河川

水田

市街地

青梅街道

西

道

# 昭和の初めころの水田風景-田無



# 石神井川の川ざらい-1965年



## 東伏見の加藤さん

- 昭和4年ころ川幅3~5m、深さ子どもの膝くらい、水量は多くない。水はきれいでトンボやホタルが飛び交い、タニシがよくいた。この一帯はヨシが茂る沼地で、そこから中から水がポコポコと湧き出ていた。低地で田んぼがありました。田無にもずいぶんあったが、湧水で稲にとって冷たすぎるので、実りはよくなかった。

## 向台の尾林さん

川幅は、狭く流れも緩やか、一度雨が降ると増水で深くなり、幅が広がり、橋も水没してしまう。田無小学校に通うとき低学年は、上級生におんぶしてもらい、橋を渡っていた。水はきれいで、鯉や鮒、どじょう、シジミなど、ホタルも多く生息していた。

# 地元公立小学校で講義

- 小学4年生2クラス80名に出前講義
- 地球温暖化についての現状説明
- 今後水が貴重になることを説明
- そのために地元に流れる？第1級  
河川石神井川を清流に  
ホタルを呼び戻すために清掃活動の大切さ  
川のそばに縄文遺跡公園のある意味

# 平成19年度事業 講演会・WS 3回

- 第1回 講演会「温暖化地獄からの脱出」
- 講師：山本良一東京大学教授 参加者70名
- ワークショップ：「西東京市にホテルを再び」
  
- 第2回 講演会「よみがえる森“足尾”に“緑”を育てる」
- 講師：小野崎敏日鉄鉱業名誉顧問 62名
- ワークショップ：「身近な環境の再生を！」

# 山本良一 東京大学教授の危機感あふれる講義



足尾に緑を育てる

小野崎敏日鉄鉱業名誉顧問



◆ビデオと講義で足尾の  
緑の復活を目の当たり  
に

「身近な環境の再生を！」  
の ワークショップで討  
議



- 講師：柴俊男 玉川上水の自然を考える会代表
- 第3回 講演会「ホタルがよみがえるまで」  
参加者35名
- ワークショップ：「西東京市にホタルを再び！」



◆ 玉川上水のほたる復活に注目する参加者

◇ 「西東京にほたるの再生を！」のワークショップで討議

# 7月は「河川愛護月間」です。

- そして、国土交通省は平成8年度から、7月7日を「川の日」と定めています
- 7月7日は七夕伝説の「天の川」のイメージがあること
- 季節的に水に親しみやすいこと
- これからもみんなで地元の川を大切にして、清流復活、ふるさとの里川にしましょう！

ご清聴感謝いたします。